

日本学術会議主催 学術フォーラム  
「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」

SEKISUI

# Transformative Capacity 本業を通じた社会課題の解決

2022年7月7日  
積水化学工業株式会社  
ESG経営推進部  
三浦 仁美

(10分)

Drive 2022

SEKISUI CHEMICAL Group

どうやって

経営戦略

(経営において何を重要視するか  
どのように社会に貢献していくか)

どこで

事業ドメイン

事業展開エリア

取り組むべき  
重要な社会課題として認識

## 災害

(気候変動によっても  
激甚化)

いつ起きるかわからない災害に対して  
検証しながら  
戦略、方向性、施策を見直していく  
(シナリオ分析の活用)

短、中、長期で  
どんなリスクが企業に及ぼされるのか？  
その大きさは？

短、中、長期で  
リスクを機会に転換できるか？  
そのためにはいつから取り組む必要  
があるのか？

短、中、長期で  
企業が課題に与えられる影響は？



## 積水化学グループのESG経営とは



サステナブルな社会の実現に向けて、  
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。



# 社会課題を解決していく事業ドメイン

2030までに成長を加速させる事業ドメイン (Vision2030より)



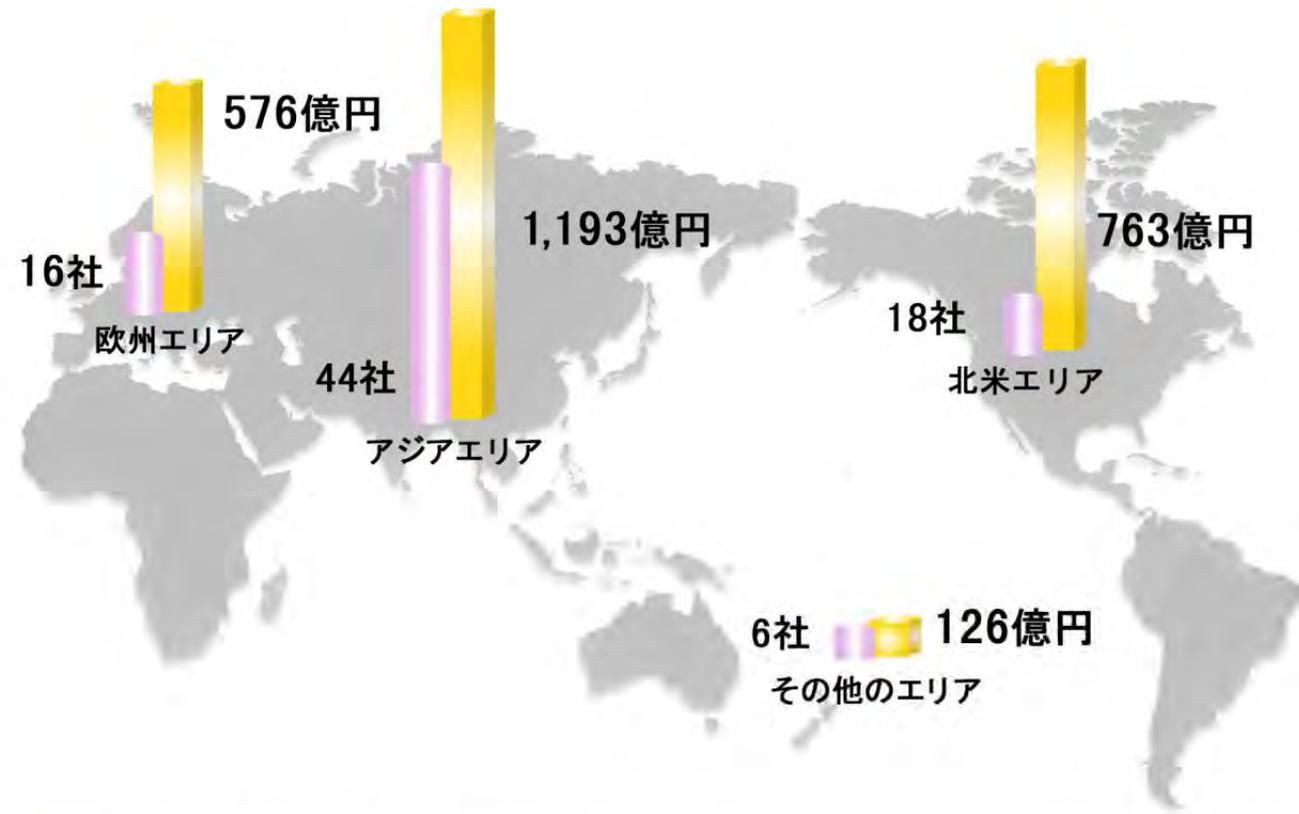
コングロマリッドとして多様な事業を展開していく経営戦略  
(4事業ドメイン+ ネクストフロンティア領域 (エネルギー分野など))



事業間の相乗効果  
社会課題同士の相関の認識 重要



# グローバルでの社会課題解決



海外売上高  
 関係会社数

● 海外会社合計 : 84社  
 ● 売上金額 : 2,660億円 (海外売上比率25.2%)

※2021年3月期 / 海外売上高 : 連結ベース | 海外会社数 : 連結+非連結ベース

アジアを中心とし、欧州、北米へと事業ドメインごとでグローバル化を加速



**エリア毎の認識 重要**  
 (社会課題、ビジネスのつながり)

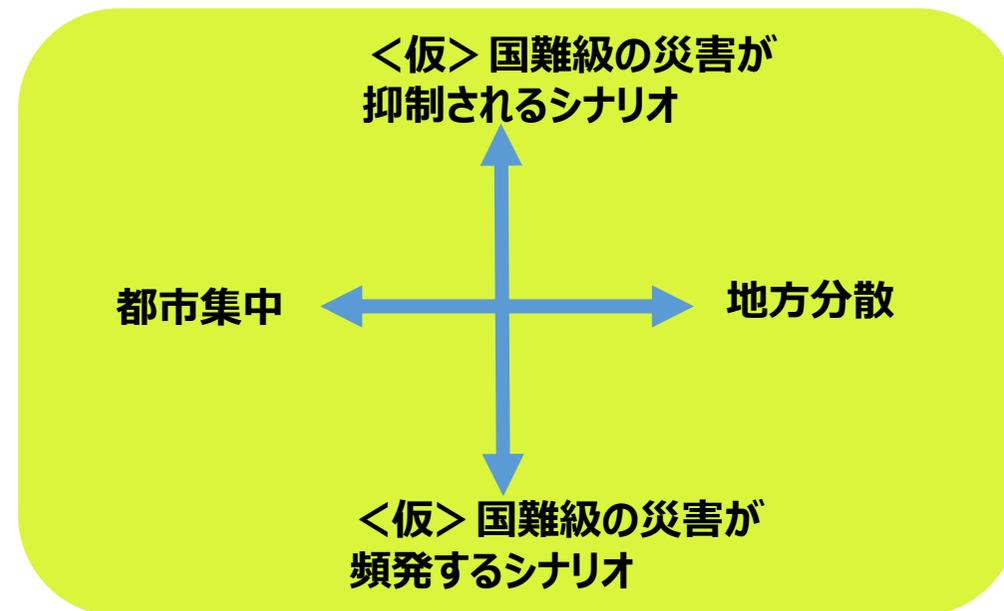
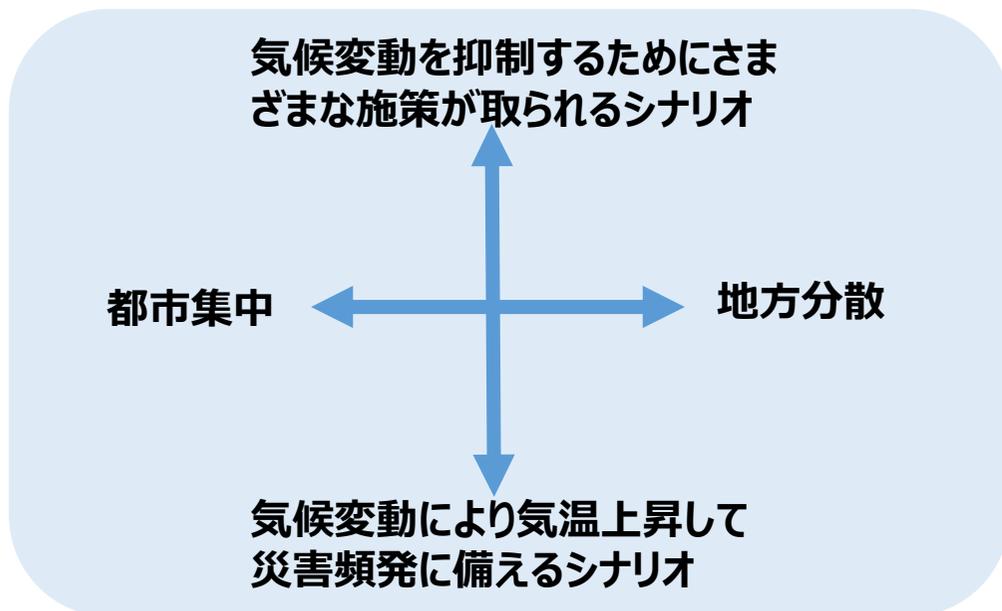
# 戦略の確認手法ーシナリオ分析

4つの事業ドメインとネクストフロンティア領域（エネルギー分野）において将来に影響をおよぼすドライビングフォースを抽出

気候変動に対して適用  
(TCFDレポート開示)

国難級の激甚化災害  
のレベルを想定して適用

自社事業にとって影響度が大きいと想定されるドライビングフォースに注目  
(もう1軸：地方分散と都市集中)



# 戦略の確認手法—シナリオ分析例 (TCFDレポートより)

気候変動を抑制するため様々な施策が取られるシナリオ

(A) 脱化石スマート社会



(B) 循環持続社会



(D) 大量消費社会



(C) 地産地消社会



気候変動により気温上昇して災害頻発に備えるシナリオ

都市集中が進むシナリオ

地方分散が進むシナリオ

災害多発、災害抑制の両シナリオを想定により、

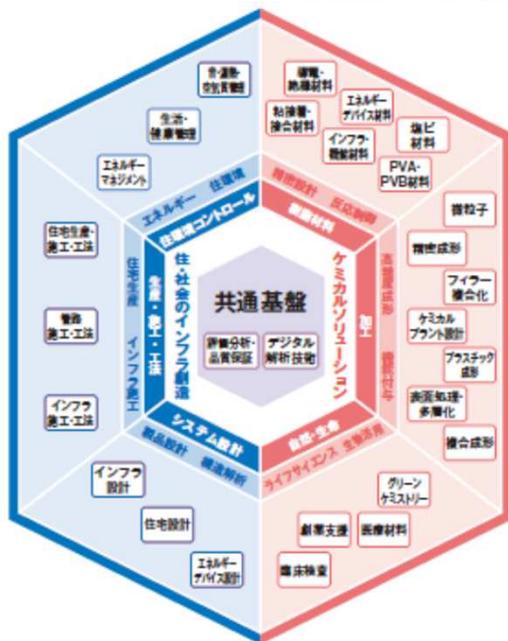
・リスク低減、チャンスとなる施策、ビジネス戦略を再確認

・企業として適応できるか経営・事業戦略の見直し



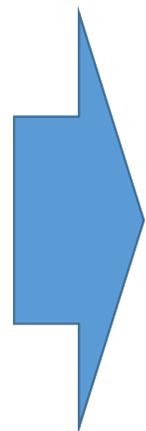
# シナリオ分析の結果

## 事業ドメインで培った28の技術プラットフォーム



# +

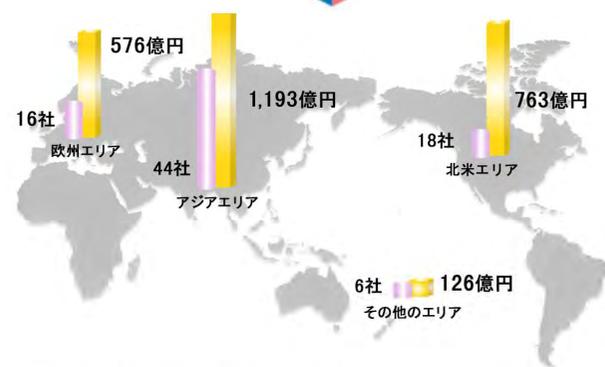
## エリア毎の災害事象



## 不確実な未来において相補完的に作用

## コングロマリッドとしての強み

## 事業毎のエリア展開



● 海外売上高 関係会社数  
 ● 海外会社合計：84社  
 ● 売上金額：2,660億円（海外売上比率25.2%）  
※2021年3月期 / 海外売上高：連結ベース | 海外会社数：連結+非連結ベース



# 本業を通じた社会課題解決事例：水災害抑制に資するビジネス



## ビジネスの相関、エリア事情配慮

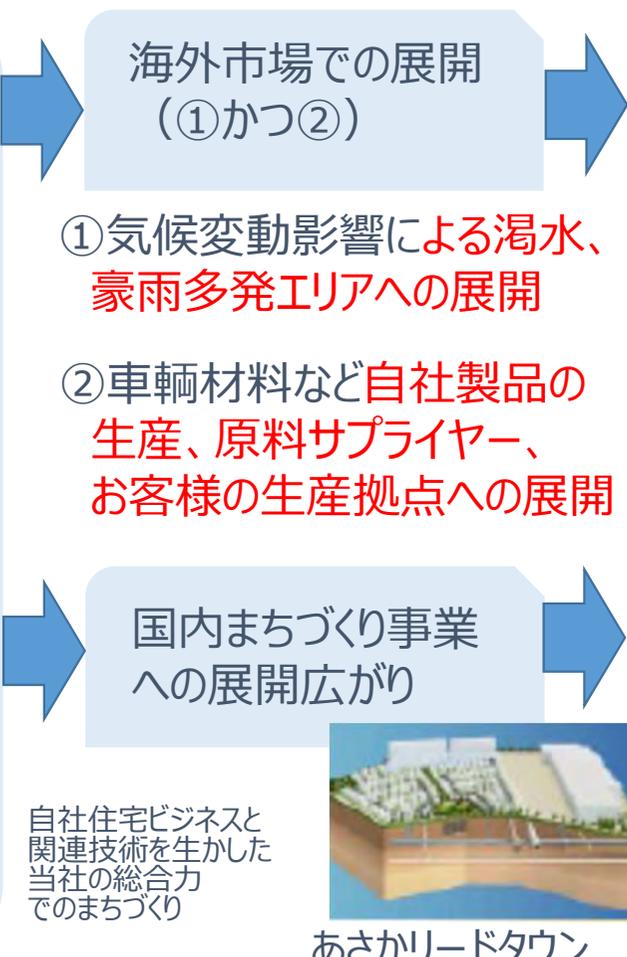
雨水貯留材  
「クロスウェーブ」



再生プラスチックを100%使用した  
95%以上の空隙率を有する  
雨水貯留材。

豪雨による浸水、オーバーフローを  
抑制する水インフラ基盤を強化する  
ために地中埋設。

埋設後も耐荷重を有するため、  
地面の有効活用が可能  
(駐車場、運動場等)



サステナブルな社会の実現に寄与  
インフラ基盤の強靱化

ビジネス上のメリット創出

- ・気候変動適応に資する  
ビジネスの水平展開による  
市場拡大 (チャンス)
- ・自社のグローバル  
バリューチェーンの盤石化  
(リスク低減)
- ・自治体と連携した  
計画的なインフラの造成  
の足掛かり (チャンス)



# 本業を通じた社会課題解決事例：災害に強いまちづくり



## 技術の活用、発展性を考える

## 災害時に役立つ技術（製品・サービス）とは何か

太陽の力で暮らす家  
「スマートハイム」



工業化住宅セキスイハイム  
ZEH仕様、耐久性60年  
住宅生産・施工・工法技術



樹脂製インフラ  
耐震性  
水災害抑制  
インフラ設計技術



フィルム型リチウム  
イオン蓄電池  
エネルギーデバイス  
設計技術

HEMS(ホームエネルギー  
マネジメントシステム)  
エネルギーマネジメント技術  
生活・健康管理技術

健康や安全のための  
センシングシステム  
機能材料技術  
(センシング材)

災害の多発  
災害の激甚化  
に対応するために

コア技術、  
それらの融合  
を活用検討

地下から地上まで設計したまちづくり



「あさかりードタウン」



従来インフラ製品の活用

インフラ技術を活用した新機能製品

蓄電池：  
災害時に再エネ活用  
(VtoH) エネルギー関連技術



[ポテンシャル]  
創エネ設置場所を  
拡張可能にする  
ペロブスカイト  
太陽電池  
エネルギーデバイス  
設計技術



[ポテンシャル]  
くらしのビッグデータ活用  
災害時の被害軽減や  
復旧へのサポート  
エネルギーマネジメント技術  
生活・健康管理技術

インフラ基盤の強靱化による  
まちとしての災害耐性向上  
インフラ設計技術

[ポテンシャル]  
インフラ非破壊検査、  
予測システムへの応用  
機能材料技術

[ポテンシャル]  
TEMS(タウンエネルギー  
マネジメントシステム)  
による復旧サポート  
エネルギーマネジメント技術



## 本業を通じた社会課題解決を加速していくためには

- どのような事業を保有しているか → 提供できる価値は何か  
(コア技術は何か)
- どこで事業を展開しているか  
展開できるか → 社会課題に対して  
どうしたら自社の強みを生かして、  
貢献に寄与できるか

このように考えて取り組んでいくことが  
国難級の激甚化災害に対応、適応できる企業、ビジネスへの変革につながる

**世界にまた新しい世界を。**

A new frontier, a new lifestyle.

**SEKISUI**